

議事録

会議	地域連携推進会議
日時	令和7年11月21日
場所	グループホーム晴れ食堂

■出席者

グループホーム晴れ管理者	西 未来
グループホーム晴れ職員	和田 恒弥
東北民生委員	秋田 正太郎
グループホーム晴れ利用者	10名

■議事内容

1, 地域課題の現状とグループホーム晴れの現状について

障がいのある方の地域生活移行が進む一方で、入居待機者が増加傾向にあり、受け入れ枠支援員が不足している。また、重度化・医療的ケアが必要な入居者が増え、支援の高度化も求められてる。夜間支援体制が脆弱で、夜間トラブル・緊急時対応の負担が増加しているのが現状にある。

当施設は現在(令和7年11月21日)定員19名中19名入所の満床になっています。
(区分なし～区分4)基本的な生活を自分で行える方のみを対象としています。

2, 地域生活支援体制の整備について

・地域との連携

医療、相談、就労と連携

今後→グループホーム職員間での情報共有を強化し、各関係機関とも親密に連携をとる。

・地域住民・地域団体との協力

近隣トラブルの未然防止、地域理解、障がい理解の促進

今後→トラブルになる理由をつくらぬよう、生活の見守り、グループホーム内でサポート(例：タバコのポイ捨て、騒音等)をし、地域貢献活動(町内会のゴミ拾い等)を行い、少しでも地域理解を得られるよう活動していく。

・支援員のスキル向上と体制強化

人材不足対策、研修の標準化、夜間支援の強化

今後→夜間支援体制強化(支援員を増やす)、行動理解・感染症・虐待防止等の職員研修を定期的に行っていく。

3, グループホームへの意見・要望

- ・ 冬季間エアコン使用はできないのか？

当施設のエアコンは寒冷地仕様ではない為、冬季は備え付のパネルヒーターの使用をお願いしたい。

- ・ パネルヒーター使用の電気代が心配。

使用の仕方によっては電気代を少しは抑えられる。外出時には最低にしておき、帰宅したら温度を高くする。

- ・ ご飯も美味しく、グループホームでの生活に満足している。(利用者)
- ・ いつも困った時など対応してくれてとても感謝している(利用者)
- ・ 町内会のゴミ拾いは地域の見守り活動にも繋がるので、とても助かる。

夜間など緊急な事が起きて困った場合は留守番はすることはできるので

困った時には頼って頂きたい。(民生委員)